

議 会

環境基本条例を可決

総社市の環境保全を推進するための環境基本条例が可決。また、吉富陸夫旧清音村長が新市初代助役に選任同意されました。

10月定例市議会が、10月31日から11月18日までの19日間の会期で開かれました。

審議されたのは、一般会計などの補正予算や平成16年度の一般会計などの歳入歳出決算の認定（14ページに関連記事）、条例の制定や一部改正など62件。すべて原案どおり可決、認定または同意されました。

一般会計の補正予算では、6億7000万円を追加し、総額243億円となりました。これは旧3市村の



定員が増員される清音保育園。待機児童の解消が期待される

前年度の同時期と比べると7.1%の減となっています。主なものは、ごみ収集有料化（15ページに関連記事）に2830万円。総社支線などの道路改良に2385万円などが計上されました。

条例については、市の環境保全などを総合的・計画的に推進するための環境基本条例を提案可決。また、清音保育園の定員を30人増員して定員110人にするために条例の一部改正がなされました。

また、初代助役に吉富陸夫旧清音村長を選任することが同意されました。任期は、



吉富陸夫 助役

平成17年11月1日から4年間となります。

問い合わせ 議会事務局議事係
☎8333

インタビュー Interview

輝いている人

ハンガリーの子供たちに野球のすばらしさを伝えたい。



11月22日総社市野球場にて

プロフィール／藤原洋造25歳。現役時代は、走攻守三拍子そろった選手として活躍。勝負強さと俊足が評価され小学生のころから打順は1番。投手と遊撃手、二塁手を掛けもち器用さも併せもち、倉敷工業高校時代は主将としてチームを率いた。ほかで泣かされた大阪体育大学時代も打撃センスを買われ、指名打者としてチームに貢献。今春まで県立岡山南高校に保健体育の講師として勤務し、野球部の顧問を務めた。

国土交通省は、高速道路の有効活用や、地域経済の活性化を図るため、建設・管理コストの削減が可能なETC専用インターチェンジ・スマートインターチェンジ「IC」の

吉備 SAでスマートIC 社会実験中

高速道路のサービスエリア [SA] に自動料金収受システム [ETC] の出入り口を設ける「スマートインターチェンジ [IC]」の社会実験が山陽自動車道吉備SA（岡山市今岡）で始まっています。どうぞ利用ください。

交通



この実験期間中は、吉備サービスエリアのスマートインターチェンジ（左図参照）から山陽自動車道への出入りができます。どうぞご利用ください。
問い合わせ 吉備SAスマートIC地区協議会（☎086-808-1416）、土木課土木係（☎8291）

青年海外協力隊員としてハンガリーで野球を指導・普及する

藤原洋造さん（門田）

開発途上国の経済開発や福祉の向上を支援することを目的に、派遣先の国の人々と生活を共にしながら、国づくりを手助けする青年海外協力隊。その一員として、今年から2年間、東ヨーロッパのハンガリーで野球競技の普及に努めるのが、藤原洋造さんだ。

小学3年生から17年間、選手や指導者として野球一筋の人生を歩んできた。「強豪相手に、9回裏2死無走者から6点差の試合をひっくり返したときのチームの一体感は最高でしたね。野球にはドラマがあるんですよ。何より野球からは、一生付き合える仲間をもらいました」と熱く語る。

野球の競技国と競技人口の減少などが理由で、'08年の北京オリンピックを最後に野球は、正式種目から外れてしまう。藤原さんは、ハンガリーのクラブチームやナショナルチームを指